



小原國芳先生「勉学の道」歩こう会を開催

■1月27日、5年ぶりに開催され、35名が参加しました。参加者は、桜山小学校出身で玉川学園創設者の小原國芳先生が通学した久志から桜山小学校までの道約12kmを歩きました。



市学校音楽祭を開催

■1月30日、市民会館において市学校音楽祭が開催されました。市内全小中学校から代表の児童・生徒が出演し、合唱や楽器の演奏などを披露しました。最後は、参加者全員による市民歌の合唱で会場は一つになっていました。



絆が生んだ日韓親善友好之集い

■2月14日、osoto枕崎で文化交流等を通じ相互理解を深める日韓親善友好の集いが開催されました。主催の三浦さん兄弟が、グラウンドゴルフの指導者として韓国へ渡り生まれた絆により実現したもので、多くの市民が訪れていました。



青山学院大学硬式野球部が合宿

■2月13日から26日にかけて、2023年度東都大学野球リーグ戦で春秋連覇を果たした青山学院大学硬式野球部が市営野球場で合宿を行い、14日に歓迎セレモニーを行いました。



ふるさと枕崎自慢のカツオを知って～4年ぶりにこどもカツオマイスター検定を開催

2月17日、4年ぶりとなる枕崎こどもカツオマイスター検定が、南薩地域地場産業振興センター等で開催され、市内の小学5年生33名が挑戦しました。枕崎こどもカツオマイスター検定は、カツオやかつお節、枕崎を学ぶことで、ふるさと枕崎に愛着をもつ子どもに育てることを目的としたものです。

参加した子どもたちは、実技試験としてカツオの水揚げの様子や冷凍保管庫、カツオさばき見学を行ったほか、わら焼きタタキや茶節づくり、かつお節削り体験など、枕崎ならではの体験に、真剣に取り組んでいました。



川辺チーム健闘の3位～第71回県下一周市郡対抗駅伝競走大会

第71回県下一周市郡対抗駅伝競走大会が2月17日から5日間の日程で開催され、川辺チームは総合3位と健闘し、目標のBクラス優勝、Aクラス復帰を果たしました。

初日の17日は、午後1時40分ごろに第8中継所の枕崎市役所前を選手たちが次々と通過。会場や沿道には多くの市民が駆けつけ、選手たちに声援を送ったほか、4年ぶりにまくらざきハーモニーネットワーク委員会による茶節や腹皮のから揚げの振る舞いが行われ、大盛況となっていました。

本市出身の選手では、田畑庸祐選手、茅野雅博選手、茅野智裕選手、茅野泰介選手の4名が出場し、力強い走りを見せていました。



①こどんRUNを楽しむ参加者 ②鹿児島大学大学院陸上部による陸上教室 ③まくらざきハーモニーネットワーク委員会による茶節の振る舞い ④元気よくスタートするかつおジョギングの参加者 ⑤リレーマラソンで優勝した「フィジコ〜RUN倶楽部」喜びのゴール



新春爽やかに300人快走～枕崎かつおランニングDayを開催

1月21日、市営野球場および塩浜総合グラウンドで「枕崎かつおランニングDay」が開催されました。

未就学児を対象に300mのコースを走る「こどんRUN」や年齢ごとに1km、2km、4kmをそれぞれ走る「かつおジョギング大会」、60分間にチームでどれだけ走破できるかを競う「リレーマラソン」と多様な参加スタイルでそれぞれの挑戦を楽しんでいました。競技間には鹿児島大学大学院陸上部の皆さんによる陸上教室も開催され、ウォーミングアップのやり方やフォームで意識するポイントなどを学びました。

また、まくらざきハーモニーネットワーク委員会による茶節の振る舞いが行われ、多くの来場者が温まっていたいました。



アートでつながる理想の世界～海外のアーティストとオンラインワークショップを開催

1月30日から2月25日の間、南濱館でカンボジアや東南アジアのアーティストと子どもたちの作品を紹介・展示する「自然とつながるアジアのアート展」が開催されました。

2月10日には、カンボジアのデジタルアーティスト、ジェシー・アン氏を講師に、理想の世界を描く「オンラインアートワークショップ」も開催され、カンボジアの文化を学び、丸い画用紙に理想の世界を描きました。参加者は、画面越しにジェシーさんに自分の描いた絵を紹介し、楽しみながらそれぞれの作品に向き合っていました。



100歳おめでとうございます～有園ミルさん(田布川町)

2月10日に有園ミルさんがめでたく100歳の誕生日を迎え、市と社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。

枕崎出身の有園さんは3人の子宝に恵まれ、若いころはタバコやイモなどの農業をしていました。趣味はゲートボールという有園さん、長生きの秘訣は「体を動かすことや、ゲートボールを楽しんでいたこと」と話します。これからも元気で長生きしてください。